

TボンドSS

2:1タイプ

◆ 用途

- ・ポスト、タイヤ止めブロック等の接着

◆ 特長

- ・ウレタン、コンクリート、アスファルト、金属等への接着力に優れている。
- ・耐水性、耐油性、耐衝撃性に優れている。
- ・硬化収縮が少なく、寸法安定性に優れている。
- ・主剤、硬化剤が計量されたセットのため、計量手間がかからず、また配合ミスを防止します。

◆ 性状

試験項目	TボンドSS 主剤	TボンドSS 硬化剤
組成	エポキシ樹脂系	ポリアミン樹脂系
外観	白色粘稠液体	黒色粘稠液体
配合比	2	1

◆ 硬化物性

試験項目	規格値	試験方法
比重	1.50±0.20	JIS K 7112
圧縮強度	25N/mm ² 以上	JIS K 7208
曲げ強度	10N/mm ² 以上	JIS K 7203
曲げ時歪み	1%以上	JIS K 7203

※ 養生条件：25℃ 7日間養生 試験条件：25℃

◆ 可使時間、硬化時間

温度(℃)	5℃	10℃	20℃	30℃
可使時間(分)	70	60	40	25
硬化時間(時間)	20	14	7	4

◆ 荷姿

3Kgセット 主剤：硬化剤 = 2kg：1kg

1Kgセット 主剤：硬化剤 = 0.67kg：0.33kg



※ 上記以外に、30Kgセット(主剤：硬化剤 = 20kg：10kg)もご用意しております。

◆ 使用方法

TボンドSSは、主剤、硬化剤の2液タイプですので使用時に、主剤、硬化剤を混ぜ合わせてご使用ください。

混合方法

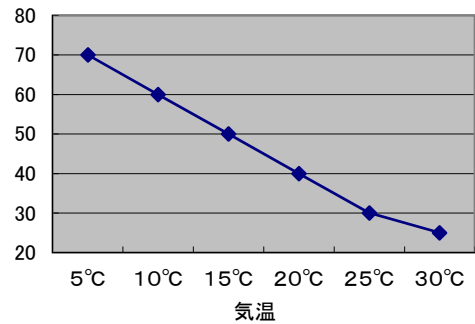
主剤の容器に、硬化剤を入れてヘラや攪拌機等で、均一になるまで十分に攪拌して使用してください。

全量使用しない場合は、主剤：硬化剤＝2：1の比率で計量して使用してください。

主剤、硬化剤を混ぜ合わせますと硬化を始めますので右表の可使時間以内に、使いきってください。

時間
(分)

可使時間の目安



◆ 施工手順

1. 下地処理

確実に接着力が発現できるよう、必ず以下の下地処理を行ってください。

① コンクリート下地の場合

接着面の油分、ほこり、レイタンス等をシンナーで拭き、サンダー、ワイヤーブラシ等で取り除いてください。接着面が濡れている場合は、ガスバーナー、電気ドライヤー等で乾燥させてから施工してください。

② アスファルト下地の場合

接着面の油分、ほこり等を、シンナー拭き、サンダー、ワイヤーブラシ等で取り除いてください。接着面が濡れている場合は、ガスバーナー、電気ドライヤー等で乾燥させてから施工してください。

③ 金属面の場合

接着面をサンダー、ワイヤーブラシ等で目荒しし、油分をシンナー拭きしてから施工してください。

2. 設置

① ポスト又はタイヤ止め等の設置位置を、チョーク等でマーキングする。

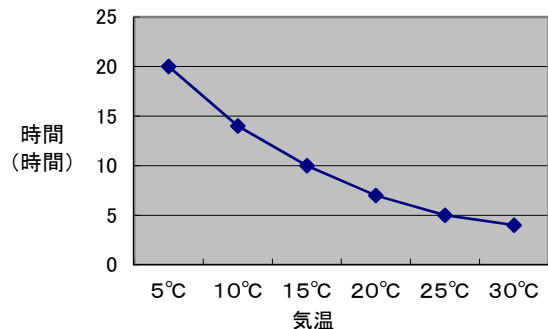
② TボンドSSを混合し、本体とマーキングした部分の両面に塗布する（塗布量：300g～500g）

③ タイヤ止めを、設置位置（向き）を確認しながら押し付けて設置完了。

④ 勾配のある場所では、硬化するまでガムテープ等で仮止めする。

⑤ 右記の硬化時間を目安に、養生してください。

硬化時間の目安



◆ 注意事項

① 雨天、樹脂の硬化時間内に降雨が予想される場合は、施工しないでください。

② 5℃以下では硬化しませんので、施工は避けてください。

③ 15℃を下回りますと、樹脂の粘度が上がり、主剤、硬化剤の混合が困難になりますので、樹脂を予め暖めて粘度を下げてから攪拌すると効果的です。

④ 新設のコンクリートに施工する場合は、コンクリート打設後、2週間以上の養生が必要です。

製造元

大成ファインケミカル株式会社

[機能商品事業部]

〒124-8535 東京都葛飾区西新小岩3-5-1

Tel:03-3691-3112 Fax:03-3691-3035

<http://www.taisei-fc.co.jp/>



No1.2014-05